

東京十二木と沖倉製材所

創業者である「沖倉喜代治」は、養沢の炭焼の家に生まれ、幼少から製材の仕事を目指し、山仕事を足がかりに身を立て、周囲の方々の支援やご協力を頂きながら強い意志を貫き、あきる野市を拠点に地元の山の木を製材する工場として、昭和25年、『沖倉製材所』を創業いたしました。

以来、地域の材を活かし、地域の人を雇用し、地域の大工や工務店等と連携し、関係する方々との信頼を培いながら、ものづくりを継続して来ました。現在も、地元出身の20代から80代までの社員が日々、木を尊ぶ心を持って黙々と仕事に取り組んでおります。

近年、多摩地域の林業も山も、様々な課題を抱えています。沖倉製材所は、自然と人が調和し、共存して生きられる未来のためには、林業と山々の再生が不可欠であると考え、製材所として何が出来るかを常に模索し、事業を展開してまいりました。

戦後、日本全国で大量のスギとヒノキが植林され、現在それらの木々が伐期を迎え、多摩産材も沢山の良材が伐られる時を待っています。しかし、原木や木材価格の低迷により適正価格がつかずに山の木は放置され、荒廃が刻々と進んできています。

私たちが今出来る最善策は、伐期を迎えた人工林の木を使うこと。とりわけ人口が多く、需要も大きい東京で、近場の多摩産材を使うことは、地元の資源を活かし、運搬にかかるエネルギーやCO2排出を削減し、地球環境への負荷を低減するという意味でも大きな貢献になるのです。

そこで、90年代後半からは、一本でも多くの多摩産材を世に送り出すことを使命とし、令和の時代を迎えた今は、多摩産材に新たな付加価値を見出し与え、本物の木の家づくりを得意とする優良工務店や職人、設計士等と連携し、東京の木の『地産地消』に取り組んでいます。

開かれた製材所を目指して、一般の方々にも工場見学や勉強会を行い、全てが見える家づくりを、『素材から始める』ことを積極的に進めています。

こうして沖倉製材所では、東京の木・多摩産材に、より多くの付加価値を与え、無垢材と共存し、森の恵みと呼吸して生きる環境を増やすため、無垢材の家づくりの推進をはじめ、テーブルやカウンターなどの家具づくりのお手伝いも始めています。

山と木々の問題への関心を高め解決に向けてアクションを起こすワークショップや、小学校の社会科見学、林野庁の地域材製材の研修やJICAの研修なども受け入れ、製材の仕事の尊さやものづくりの楽しさと多摩産材を使うことの意義をお伝えしています。

そうした中で生まれたのが「東京十二木」 「箸から家まで」

東京の森より生まれ育った木々に誕生月を与えて十二樹種の木々を誕生させました。

1月 桧	2月 桐	3月 杉	4月 山桜
5月 榧	6月 欅	7月 朴	8月 楠
9月 枺	10月 銀杏	11月 栗	12月 樅

それぞれの木の特性を活かし、住まいから暮らしの全てを【東京十二木】を使うことで森を活かしてまいります。

東京十二木

tokyo juni boku

桧
hinoki

桐
kiri

杉
sugi

山桜
yamazakura

榧
kaya

欅
keyaki

朴
ho

楠
kusu

枺
tochi

銀杏
icho

栗
kuri

樅
momi

お問い合わせ

mail : master@okikura.co.jp URL : <https://www.okikura.co.jp>

〒190-0142 東京都あきる野市伊奈 1038

TEL:042-596-0236 (代) FAX:042-596-2951



有限会社 沖倉製材所



東京十二木の家

侘び寂びは、日本独自の美意識です。
質素で静かな様子や不完全であること、古さや静けさ、枯れたものから趣きを感じられることを善しとします。

便利すぎる世の中で、敢えて手間のかかる暮らしを選ぶことは、生きている日々の大切な時間を、人生に丁寧な思い出として刻んで行きます。
懐かしささえ感じる手刻みの家を、東京の山の恵みでつくりあげる。

十二樹種

1月 桜：ひのき
1月は『小寒』寒の入を迎え一年で最も寒い時季に入る。正月を迎えて歳神様を見送り、七草粥で無病息災を願う節句を迎える貴重な【桜】。

2月 桐：きり
2月は立春。『立春大吉』は、左右対称であることから縁起が良く、一年の災難避けになると言われています。【桐】のように大切なものを見極めて凛として安定した春のスタートを迎える事ができるように。

3月 杉：すぎ
初旬に菜の花が咲き、中旬にはたらの芽、下旬にはヒバリやつくしが季節を知らせます。春の香り、冬から春の節目、山の息吹を感じさせ、節の美しい【杉】。

4月 山桜：やまざくら
4月は爽やかに華やぎ、生きる喜びを感じる時季。よもぎやこごみ、海からは桜えび。桜一杯のスタートの季節。芽吹きのに美しさを添える【山桜】。

5月 榎：かや
5月は立夏。山芽吹きから新緑へと森が変化する時。アシタバ、そら豆、さやいんげんと榎の緑色が、暑い夏と梅雨の気配を感じさせる。季節に負けず、つかの間の心地よさに感謝。

6月 樺：けやき
6月は芒種。芒は、米、麦、ヒエ、キビなど穀物を指す。それらは日本人に欠かせない毎日の恵み。
【樺】は街路や庭木として身近な存在。どちらも忘れがちな当たり前のありがたさ。



素材から始める家づくりとは、

- ・製材所からだからできること。
- ・全ての建材を東京の木で仕上げること。
- ・地場産、オールトーキョーの家づくりをご提案していること。

住まうという意志を、住まいに表す。
それは簡素でありながら、現代では最高の贅沢。

『家建てる』とは幸せに暮らすこと。
これまでにあった喜びだけでなく、悲しみや苦しみも一緒に、幸せの箱に同居させるということ。
思い出す景色はなんですか？
思い出す人はだれですか？

東京十二木の家は住まいの所々に、思い出を樹種と重ねて選んで行きます。
例えばお子様のお誕生日が4月なら、山桜を子ども部屋に使う。机やベッド作る。

7月 朴：ほお
七夕の後、東京はお盆を迎え、大暑に備えます。【朴】のように柔軟性を持ちながら、様々な環境に対応出来るよう、ご先祖さまに手を合わせる。

8月 楠：くす
セミの声と花火や夏祭り。眩しい太陽に照らせて体力を消耗しても【楠】のように見た目は美しく体は頑丈であるように。

9月 栃：とち
厳しい暑さも峠を超えて、爽やかな風とともに虫の音優雅な夜を楽しめる秋。五感を十分に使い季節の節目『白露』を美しい空目と楽しむ。

10月 銀杏：いちょう
秋の彼岸を終えて秋分にご先祖さまを敬い感謝する。【銀杏】のように外観の美しさのみならず、そのものが持つ恵みを分け与えることが生への感謝。

11月 栗：くり
山々が色づく紅葉の季節。晩秋を迎えて食を楽しむ月。古来からの食を振り返り、良いもの良い事に敏感な感性を作り上げるための木。

12月 樅：もみ
人事の事納めと神事の事始め。年越しという節目。雪が降り積もる本格的な冬の到来。無病息災を願う日本古来の風習と、12月のイベントクリスマスに欠かせない木。

*各樹種の詳しい解説もあります。

ご夫婦でいつか見た景色に栗の木があれば、それを書斎の机や和室の座卓に使うなど、住まいの所々に十二樹種を使うことをコンセプトとしています。

目利きが厳選した原木に、第二の人生を与え良材にし、確かな大工仕事に託す。シンプルで、住まう人全てに普遍的な価値のある住み継がれて行く家を目指しています。

東京十二木の家は木育の一環として、お客様に木の苗を植樹していただき、将来伐採して製材し、ご利用頂くこともお勧めして行きます。

十二樹種の適した利用

	桜	桐	杉	山桜	榎	樺	朴	楠	栃	銀杏	栗	樅	
環境	ウッドデッキ	◎		◎									
建築	土台	◎											
	柱	◎		◎									
	梁	◎		◎									
	間柱				◎								
	垂木				◎								
	床材	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	
	壁材	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎	
	天井材			◎									
	階段材	◎					◎						
	クローゼット	◎		◎									
	玄関框	◎		◎			◎						
	ドア	◎		◎									◎
	引き戸	◎		◎									◎
家具	テーブル	◎		◎						◎	◎	◎	
	机		◎							◎	◎		
	カウンター	◎		◎	◎				◎	◎		◎	
	ベッド	◎						◎	◎			◎	
	椅子	◎		◎				◎				◎	
	座卓									◎	◎		
	棚材	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
テレビ台	◎		◎	◎				◎	◎		◎		
道具	まな板									◎			
	木鉢		◎										
	箸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

*この他にも適した利用方法はあります。

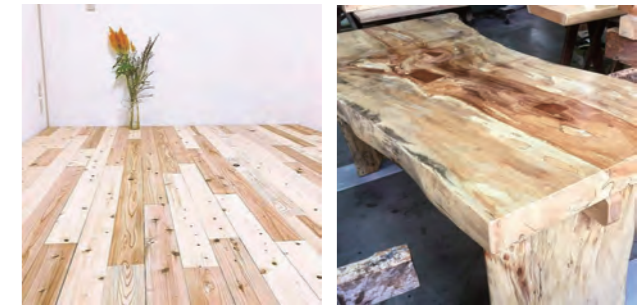
それはまさに素材から始める家づくり。

東京の製材所からならでの『東京の木・多摩産材』を五感で感じ、全ての建材を東京の木で仕上げる、地場産、オールトーキョーの家づくりをご提案しています。

木の家を建てるメリットとデメリットを明確にし、こだわりの健康住宅をお施主様とデザインしていく。東京の木で東京の技術者と本物の東京の木の家を建てる。

それが東京十二木の家づくりです。

*東京十二木は沖倉製材所の登録商標です。



*写真はイメージです

- ・木の家を建てるメリットとデメリットを明確にしていること。
- ・素材を求めるお客様には、工務店や大工、技術者やデザイナーなど、優良かつ誠意のある人や企業をご紹介します。顔の見えるものづくりの連携をご提案していること。

